

# 令和8年度 総合型選抜（総合Ⅱ）

## 課題解決型記述問題

### 注意事項

1. 解答用紙はA4サイズ2枚（片面印刷）です。裏面に記入してはいけません。解答用紙①には問題に対する解答を、解答用紙②には参考文献等を記載してください。なお、罫線は文字の数や大きさを規定するものではありません。（Wordファイルには罫線はありません）
2. 解答用紙①②の所定の欄に、本学の整理番号（5桁）を必ず記入してください。「整理番号」は、志願内容確認票（提出用）の下部に記載されています。
3. 作成にあたっては本学ホームページに掲載している「学部入学者選抜における提出書類の作成について」を必ず確認してください。なお、解答時間の制限はありません。
4. 解答は白黒で作成してください。解答用紙のレイアウトの変更は認めません。解答の一部または全部をデジタルで作成しても構いません。デジタルで作成する場合は、フォントサイズを10.5pt以上（この注意事項の本文で使用している文字のサイズ以上）としてください。自筆で作成する場合は黒鉛筆またはシャープペンシル（B・F・HB）で記入してください。
5. 参考文献等（書籍・論文やインターネット等からの情報）及び助言者・使用したツール等は、次ページの「解答用紙②の記載における注意事項」に従い、解答用紙②の指定欄に正確に記載してください。なお、参考文献等がない場合は、当該の欄に「参考文献等なし」「助言者・使用したツール等なし」と記載してください。
6. 解答用紙は募集要項(p.42-47)の指示に従って、紙媒体と電子ファイルの両方（同一のもの）を提出してください。紙媒体は後述の「郵送提出の方法」に従い、速達簡易書留で大学へ郵送してください。電子ファイルは、解答用紙①②を一つのファイル（A4 2ページのPDF）にしてJ-Bridge System（以下、JBS）から提出してください。また、スキャナで取り込む際は、400dpi以上600dpi以下の解像度で、ファイルサイズは300MB未満としてください。また、色調を指定できる場合はグレースケールとしてください。  
なお、作成過程の記録等は提出不要です。第2段階選抜に備えて各自で保管しておいてください。

**提出期限：令和7年12月16日（火）JBS：23時59分締切 郵送：当日消印有効**

**※JBSと郵送の両方で提出が必要です。**

## 解答用紙②の記載における注意事項

- 参考文献等（書籍・論文やインターネット等からの情報）は、評価者が出典元を確認できるように、以下の情報を解答用紙②の指定の欄に、正確に記述してください。

著者に関する書誌要素： 著者名、 編者名 等

標題に関する書誌要素： 書名、 誌名、 論文標題 等

出版・物理的特徴に関する書誌要素： 版表示、 出版者、 巻・ 号・ ページ、 DOI 等

注記的な書誌要素： 媒体表示、 入手方法、 入手日付 等

### 書籍や単行本の場合の例

著者名・編者名. 書名. 出版社名. 出版年. ISBN

[1] 九州工業大学編. 九工大世界トップ技術 Vol. 2. 西日本新聞社. 2008.

ISBN 978-4816707520

### 論文の場合の例

著者名・編者名. 論文名. 誌名. 出版年. 巻数 (号数) . 始めのページ-終わりのページ.

[2] 三谷康範 他、紀伊水道直流連携設備：20世紀の技術の粋を集めた送電システム.

電気学会誌. 2022. 122(2). 76-79

### ウェブページの場合の例

著者名・編者名. “ウェブページの題名”. ウェブサイトの名称. 更新日 (わかれば) . URL (最終閲覧日)

[3] 九州工業大学. 2018-2022 年度都道府県別入学者数 (過去 5 年間) . 九州工業大学入試サイト. 2023. <https://www.admission.kyutech.ac.jp/past/hometown.html> (2024-2-20 閲覧)

- 第三者からの助言を受けた場合は助言者と解答者との関係等を、アプリケーションやツールを使用した場合にはその名称等を、下記の例にならって解答用紙②の指定の欄に明記してください。

記入例) ・Microsoft Office Word (Microsoft) : 答案の作成・校閲

・学級担任 : 内容に関する相談、文章の体裁についての助言

・ChatGPT 5.1 (OpenAI) : ○○に関する調査

## 問題

アメンボはカメムシ目アメンボ科の昆虫の総称で、日本では北海道から沖縄にかけて広く分布している。福岡県内では 12 種のアメンボの生息が確認されている。その一種であるナミアメンボ (*Aquarius paludum paludum*) は、街中の公園の池でよく観察される。ナミアメンボは水面で暮らし、水面に落ちた昆虫などの動きを感知して捕獲し、ストロー状の口を差し込み、消化液を流し込んで内容物を溶かして食べることが知られている。また、つまむと焦げた<sup>あめ</sup>飴のような匂いを出し、これが名前の「飴ん棒」の由来ともされている。

さて、どこにでも見られるナミアメンボではあるが、生活排水が流れ込む水場ではほとんど観察されないといわれている。あなたは、このことについて、3人グループで探究することとなった。

**【問い】** 下記の(1)(2)について答えなさい。なお、解答にあたっては表紙の注意事項を遵守し、必要に応じて図表などを用いてよい。

- (1) ナミアメンボは生活排水が流れ込む水場ではほとんど観察されない理由について考察しなさい。
- (2) (1)の考察を元に仮説を立て、それを定量的に検証する方法について説明しなさい。ただし、下記の条件を満たすこと。
  - ・アメンボも含め、生き物を使用しての実験は認めない。
  - ・3人の役割を明らかにし、特にあなたの役割を記述すること。
  - ・その方法で実施したとき、どのような結果が得られるかの予想を含むこと。